

平成29年（2017年）2月1日（水曜日）

# 「的確な建設」期待

## 三島市と東急がホテル協定

三島市と東京急行電鉄（本社＝東京）は31日、市役所で三島駅南口西街区にホテル建設を指す「広域観光交流拠点整備事業推進」の基



基本協定書を締結した豊岡市長（左から2人目）や渡辺東急専務（同3人目）の4者＝三島市役所

本協定を締結した。東京五輪などを照準に2020年4月開業を目指すホテル建設が正式にスタートした。

協定は主に事業目的

・責務、土地売買契約、景観への配慮、地区計画の4項目。景観では湧水の保全を配慮した工法や施設内外に樹木を植栽するなど「グリーン」

を意識した。

同日、市、市土地開発公社、東急、東急ホテルズの4者により協定を締結。豊岡武土市長は「三島を最大限に生かせる計画。企業力で迅速、的確に建設を進めてほしい」と期待した。東急の渡辺専務は「伊豆地区との関わりは深い。立地ポテンシャルが高く、グループの力を挙げて広域に発展するよう尽力したい」と語った。

東急は0・34畝を約4億8000万円で取得。地下水に配慮した地上16階、客室200室のシティホテルを計画している。